

# 日本学生支援機構奨学金給付奨学金（新制度）

## 【重要】寡婦（寡夫）控除のみなし適用について

現在、給付奨学金（新制度）を受給している学生について、以下の申請要件に該当し、寡婦（寡夫）控除のみなし適用を希望する場合は、手続方法の詳細について日本学生支援機構のホームページに掲載していますので、ご確認の上、手続きを行ってください。

### 【申請要件】

1～4のすべてに該当する学生が対象です。

1. 令和3年4月以降も継続予定の給付奨学生のうち支援区分が第一区分以外の方（支援区分が第二、第三、対象外となっている方が対象）
2. 生計維持者が住民税における寡婦（寡夫）控除を受けていない方
3. 生計維持者が令和元年12月31日時点で税法上の扶養親族である子を扶養する婚姻歴（事実婚を含む（※））のないひとり親である方  
※住民票の続柄に「夫（未届）」「妻（未届）」の記載がある方は対象外。  
令和2年1月1日よりも前に婚姻歴（事実婚を含む）がなく、かつそれ以降に婚姻歴がある方は対象。
4. 当該生計維持者の令和元年（平成31年）1月～12月の合計所得金額が500万円以下（給与所得者の場合、年収688万円以下）である方

### 【提出書類】

- ・寡婦（寡夫）控除のみなし適用申請書
- ・住民票の写し（コピー可、マイナンバーの記載のないもの）  
※世帯全員分の記載があるもの  
※続柄の記載があるもの（「省略」となっている場合は不備とみなす）

### 【提出期限・提出先】

**令和3年1月20日（水）**までに所属のエリア支援室学生支援へ提出して下さい。

令和2年12月10日  
学生部学生生活課

## 未婚のひとり親への寡婦（寡夫）控除のみなし適用について

（令和２年度に給付奨学生に採用された方）

独立行政法人日本学生支援機構

給付奨学金の収入基準については、生計維持者及び学生本人の住民税情報により判定を行います。

令和２年度までの住民税に係る地方税法においては、未婚の（婚姻歴のない）ひとり親には寡婦（寡夫）控除が適用されないこととなっているため、住民税の計算上、未婚のひとり親は、婚姻歴のあるひとり親と比べて不利となる場合があります。

令和３年の税制改正によって、未婚のひとり親にも寡婦（寡夫）控除が適用される予定ですが、本機構の給付奨学金では、令和３年の税制改正に先立ち、改正予定の新たな寡婦（寡夫）控除を令和３年４月以降の給付奨学金の収入基準に前倒しで適用することで、経済的支援の公平性の確保を図ります。

### １．のみなし適用の対象となる方

以下、**（１）～（３）の全てに該当する方を対象**とします。

（１）令和３年４月以降も継続予定の給付奨学生のうち、令和３年４月の支援区分が第Ⅰ区分以外となる方。（令和２年１０月に実施された適格認定（家計）による支援区分の見直しにおいて、支援区分外となった者を含みます。）

（２）生計維持者が、令和元年１２月３１日時点で税法上の扶養親族である子を扶養する婚姻歴（事実婚を含む（※））のないひとり親である方。なお、既に税法上の寡婦（寡夫）となっていた方は対象外です。

（※）住民票の続柄に「夫（未届）」、「妻（未届）」の記載がある方は対象外です。令和２年１月１日より前に婚姻歴（事実婚を含む）がなく、かつそれ以降に婚姻歴がある方は対象となります。

（３）当該未婚のひとり親（生計維持者）の令和元年（平成３１年）１月～１２月の合計所得金額が５００万円以下（給与所得者の場合、年収６８８万円以下）の方。

### ２．申込みの流れ

本機構のホームページに掲載する「寡婦（寡夫）控除のみなし適用申請書」をダウンロードし、必要項目をすべて記入のうえ、**住民票の写し（※）とともに学校に提出**してください。

（※）住民票は、「世帯全員分」の記載及び「続柄」の記載があるもので、かつ令和２年１月１日以降に発行されたものを提出いただく必要があります。

#### ◆ホームページ掲載場所◆

ホーム>奨学金>奨学金の制度（給付型）>申込方法

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/moshikomi/index.html>



### ３．提出期限

在籍する学校に確認してください。

### ４．のみなし適用による支援区分再判定結果の確認

令和３年３月以降、スカラネット・パーソナルにてご確認いただけます。スカラネット・パーソナルの「支援区分適用履歴」にて２０２１年４月～２０２１年９月の支援区分を確認してください。

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

日本学生支援機構 奨学金相談センター（ナビダイヤル）

電話：０５７０－６６６－３０１（平日 ９時００分～２０時００分）

寡婦（寡夫）控除のみなし適用申請書

○太枠内の項目を記入してください。

奨学生番号	5	2		0							
学校名						学科・専攻					
学部・課程・分野						学籍番号					
氏名						生年月日					
現在の支援区分 (該当の区分に☑)	<input type="checkbox"/> 第Ⅱ区分 <input type="checkbox"/> 第Ⅲ区分 <input type="checkbox"/> 支援区分外										

○次の書類を本紙の下に重ね、ホチキス留めのうえ、学校に提出してください。

【提出書類】 令和2年1月1日以降に発行された「住民票の写し」

- ・コピー可、マイナンバーの記載のないもの
- ・世帯全員分が記載されているもの
- ・続柄の記載があるもの

※ 奨学生本人と生計維持者の住民票が分かれている場合は、それぞれの世帯全員分の記載のある住民票を提出してください。

※ 続柄の記載が「省略」となっている場合は、不備となります。

書類提出先：奨学指導課  
異動・補導係

学 校 番 号	区 分
⋮ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮	⋮

電話番号（担当者名）
— — ( )

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務（返還業務を含む）及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。